



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No.29 2025.2.26(No.3234)

ロータリーはステージ・  
みんなが輝く!

第2560地区ガバナー／南雲 博文  
会 長／渡 辺 良 一  
会長エレクト／柳 取 崇 之 (クラブ奉仕A)  
副 会 長／西 山 徳 芳  
幹 事／船 越 良 則  
S A A／落 合 孝 夫  
会 計／小 林 吾 郎  
直 前 会 長／吉 井 直 樹  
会長ノミニ／小 林 吾 郎 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～  
例会場及び事務局／  
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内  
例会場／TEL 34-3311  
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095  
E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
https://www.sanjorotary.site

■本日の出席会員数:57名中38名  
■先々週出席率:78.57%

#### 【ビジター】

・米山記念奨学生 胡湘榕さん

#### 【先週のメイクアップ】

[2.20] 三條東RCへ

・丸山行彦さん、 田久保良さん、  
・小越憲泰さん、 松永隆夫さん、  
・吉井直樹さん、 五十嵐晋三さん

[2.20] 三條RACへ

・渡部 宏さん、 高橋俊樹さん

[2.22] 地区チームラーニング・

国際協議会報告・運営会議(新潟)へ

・早川滝徳さん

[2.26] 三條市共同募金委員会運営委員会へ

・松永一義さん



2024～2025 年度国際ロータリーのテーマ



「雪底の上の挑戦者たち - 70歳を超えてもなお冬山を滑る」

## 会長挨拶

渡辺良一 会長



皆さんこんにちは。

先週はRI創立記念とクラブの新年会、  
お疲れさまでした。

松永親睦委員長はじめ親睦委員会の皆様  
ありがとうございました。

また、卓話をしていただいた小越さん、  
乾杯・中締めをしていただいた萩根澤さん、中村和彦さん、  
ありがとうございました。

萩根澤さんには、また大切なものを松永委員長と私は学ば  
せていただきました。

では、本日の話題をお話いたします。先日、田久保さんと分  
水RCで卓話をしてきました。「自然災害(地震)と保険」と言  
う話題でした。

そして、私の初めての会員卓話も「地震について」でした。  
2011年2月2日、14年前のことです。阪神淡路大震災から16年  
後、東日本大震災の一ヶ月前でした。そのときは関東大震災  
を題材に今村明恒帝大教授のお話をいたしました。今日も地  
震について少しだけお話いたします。

#### ◆1995年 阪神淡路大震災

マグニチュードは7.3 震度7 犠牲者6434人 負傷者は4万  
3792人 約24万棟の住宅が全壊、半壊。兵庫県内では約31万  
6000人が避難生活。以上が阪神淡路大震災の被害状況です。

ここで皆様に紹介したい数字があります。

マグニチュード8程度 震度7。予想死者数8000人 避難数47万人。30年以内発生する確率が2%~3% Sランク。因みに1995年 阪神淡路大震災発生直前の確率値は0.02%でした。

この数字はあるところのこれから地震が起きる可能性を予測したものです！どこだと思えます？

いつ来るか予想するのは難しいことです。

14年前もこの言葉で締めくくったのですが、旧東京帝大の今村明恒教授の言葉です。

「君子、未然に防ぐ」

地震の備えはくれぐれもしていただきたいと思います。

この後、東京海上が誇る俊才 田久保さんより、より詳しいお話がありますので楽しみにしててください。

次回は南北朝の親王が！幕末の英雄が！かのITの申し子が！心癒され再起した地のお話をいたします。

以上で会長挨拶を終わります。

## 幹事報告



船越良則 幹事

◎2025-26年度国際ロータリー会長メッセージが発表されました。

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ  
国際ロータリー会長エレクト（ブラジル）

「よいことのために手を取りあおう」  
(UNITE FOR GOOD)

◎鈴木重彦ロータリー地域協働ネットワークセンター顧問より

「中越地震21年講演会のご案内」

日時 3月17日（月） 13:30~16:30

会場 長岡リリックホール

申込 3月11日（火）迄 ※事前申し込みが必要です。  
詳細は受付のチラシをご確認ください。

◎越後春日山RCより

「創立30周年記念式典のご案内」

日時 4月12日（土） 15:00~19:00

会場 ホテルハイマート（上越市）

◎地区事務所より

「第9回 日台ロータリー親善会議 札幌大会のご案内」

日時 5月31日（土） 13:00~

会場 グランドメルキュール札幌大通公園

## ニコニコBOX

渡辺良一会長

先週のRI創立記念例会及び新年会、お疲れ様でした。田久保さん卓話よろしくお願ひいたします。

田久保 良さん

拙い卓話ですがリラックスしてお聞きいただければと思います。よろしくお願ひいたします。

斎藤弘文さん

誕生日、めいどの旅路の一里塚。めでたくもあり、めでたくもなし。今日は私の誕生日です。

嘉瀬一洋さん

建国記念の日を奉祝する市民の集いへのご協力・ご協賛ありがとうございました。

久しぶりに冷や汗をかきました(笑)

田久保さん卓話よろしくお願ひします。

中村友昭さん

先日、二人目の孫の百日祝いをやりました。とにかく元気に育ってほしいです。

菊池 渉さん

2月は休んでばかりでした。連休後は春が来るのかと思っていたのに…

荻根澤隆雄さん

先週のRI創立記念例会・新年会に於きまして乾杯の音頭をとらせていただきました。

ありがとうございました。

吉井直樹さん

雪模様の天候が少しゆるみ、春の声を聞きたい気分になります。本日もよろしくお願ひします。

伊藤浩志さん

来週は私が卓話の当番です。何を話したら良いかわかりません。

落合孝夫さん

雪が溶けてうれしいです。田久保さん卓話よろしくお願ひします。

高橋 司さん、 柳取崇之さん、 船越良則さん、

野水靖之さん、 松永一義さん、 長谷川正実さん、

安達俊明さん、 杉山幸英さん、 外山浩玲さん、

小林吾郎さん、 渡部 宏さん、 高橋俊樹さん、

早川滝徳さん、 野崎喜一郎さん、 歸山 肇さん、

山田富義さん、 中村和彦さん、 飯塚一樹さん、

丸山行彦さん

田久保会員、本日は卓話よろしくお願ひいたします。

お話し楽しみにしております。

2月26日分 ￥ 29,000

今年度累計 ￥879,000



田久保 良 会員

本日は地震と災害についてお話をさせていただきます。

地震大国日本では、直近150年間で死者・行方不明者数が100人を超える地震が21回発生しており、約7年に1回発生している計算になります。2000年代に入ってから2回発生（東日本、熊本）し、直近では、昨年1月1日に発生した能登半島地震で多くの被害が出るなど、地震は私たちの生活にとって大きな脅威です。地震そのものや断層やプレートのお話に加えて、地震の備えの一つである「地震保険」について、その歴史と、意外と知られていない内容について、皆様と一緒に考えられたらと思います。

まず、新潟県の地震についてお話しします。まず思い浮かぶものは中越大震災と中越沖地震がありますが、三条の地震といいますと、江戸時代後期1828年に、「越後三条地震」があります。三条市を中心にマグニチュード6.9、現在の震度階級にして震度7相当の揺れがあったと推定され、死者1,000人以上、家屋全壊約10,000棟と大きな被害がありました。東本願寺三条別院も、記録によると「建物全壊そのうえ類焼し残るものなし」とのことでした。ほぼ同じ位置で西蒲原地震が1670年に発生しています。

次にプレートについてお話しします。日本列島では、太平洋プレート、フィリピン海プレート、ユーラシアプレート、北米プレートの4枚のプレートが接しており、これらのプレートが動くことで、日本列島では地震や火山噴火が発生しています。太平洋プレートとフィリピン海プレートは、毎年数cmの速さで西に動き、日本列島の下に沈み込んでいます。また、フォッサマグナの西縁である糸魚川-静岡構造線では、北米プレートとユーラシアプレートが衝突しています。南関東では、太平洋プレート、フィリピン海プレート、ユーラシアプレートの3枚のプレートが重なり合っており、地震を発生させています。なお、フォッサマグナはラテン語で大きな溝という意味です。

ここで、日本海東縁を南北に延びる地質学的な歪みの集中帯「日本海東縁ひずみ集中帯」についてお話しします。ユーラシア大陸と樺太の間宮海峡から北海道積丹半島沖を通過し、男鹿半島沖から新潟沖に繋がる地域で、地殻に対して加わるストレスによって生じました。南北方向に断層や地殻変動を表す地形が確認されていて、能登半島地震の震源断層は、このひずみ集中帯の西端にあり、主要活断層として今後も地震・津波を引き起こす可能性が高いと言われています。過去に

東京海上日動 TOYO MARINE NICHIDO To Be a Good Company

## 地震と保険

2025年2月25日  
田久保 良

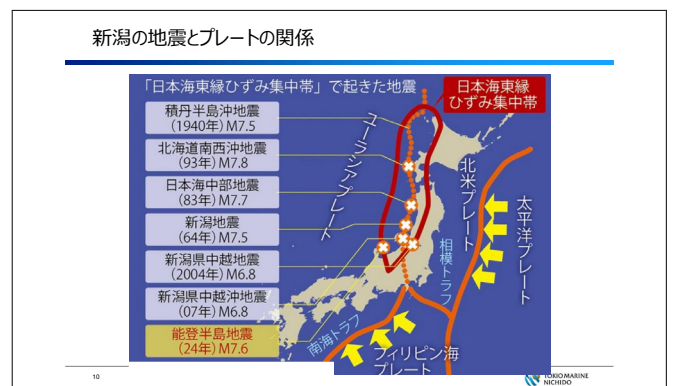
### 自己紹介①

- 名 前 : 田久保 良 (たくぼりょう)
- 生年月日: 1981年11月16日
- 勤務先 : 東京海上日動火災保険(株) 長岡支社
- 住まい : 長岡市 (単身赴任)  
家族は神奈川県川崎市、実家は東京都北区の寺院 (福性寺)

東京海上日動 長岡支社

### 目次～地震と保険～

1. 新潟の地震
2. 地震と保険の歴史
3. 地震保険とは
4. 地震が起きたときには
5. 最後に



発生した地震を並べると、空白帯があることが分かっていきます。

二つの断層をご紹介します。一つ目は佐渡沖断層帯で、能登半島地震の震源断層に連なる佐渡沖に近い活断層です。能登半島地震の本震や一連の余震でも動きが少ないことから、割れ残っている可能性が高い活断層が連動するようなM7クラスの大きな地震が発生すると、佐渡を含めた新潟県内の沿岸部に、最大約3メートルの津波が押し寄せる危険性がある、とされています。二つ目は長岡平野西縁断層帯で、新潟市の沖合から小千谷にかけて延びる約80<sup>キロ</sup>の活断層です。県内で最大の地震被害断層をもたらす恐れがある断層とされており、マグニチュード8程度の地震が30年以内発生する確率が以下の通り上昇しました。

2%以下のAランク(やや高い)→2%~3%のSランク(高い)

仮に上中下越の広範囲で震度7の地震が起こった場合、死者数8,000人、避難者数47万人と言われてます。また、土砂災害が起きやすい地域が該当していることも特徴です。

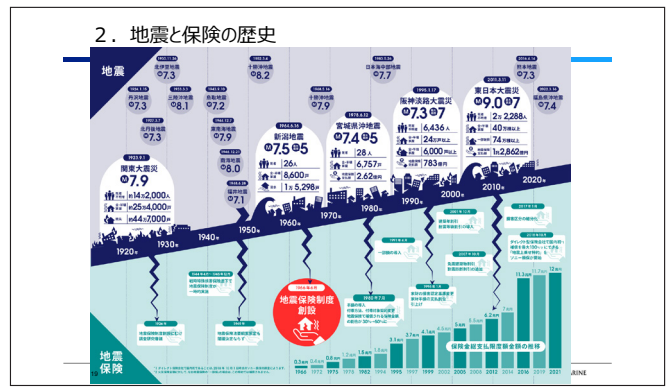
ここで、個人向けの地震保険の歴史についてお話します。今から100年以上前に制度検討がスタートし、1920年ごろ、政府が招聘したドイツ人の経済学者が提案しましたが、国営かつ強制を前提とする保険制度への反対の声が多く、成立には至りませんでした。大地震が発生するたびに数十年に渡り議論がなされるも、なかなか実現せんでしたが、1964年6月に発生した新潟地震をきっかけに、当時の田中角栄大蔵大臣の尽力もあり、1966年5月に「地震保険に関する法律」が公布・施行され、同6月1日に販売スタートしました。ただし、現在の制度とは補償内容、総支払限度額等、大きく異なる制度でした。

また、地震保険は「被災者の生活の安定に寄与すること」を目的に制定され、保険金を迅速に・公平にお支払いする為に、判定区分を現在5区分設けていて、区分に応じてお支払いする保険金の割合が決まっています。火災保険のように、修理費用をお支払いする保険ではありません。全国の地震保険付帯率(2023年度)は69.7%で、新潟県は73.9%、三条市は78.0%です。

冒頭お伝えしたとおり、日本は地震大国であり、いっどこで巨大地震が発生してもおかしくありません。地震保険に加入することは選択肢の一つであり、正解ではございません。

建物の耐震化、水やライト、バッテリー類等、最低3日間は自助で過ごせるように備えることも大事です。本日の内容をきっかけに、地震が起こった時に備え、ご家族や従業員の皆様とお話してみたいかがでしょうか。

以上、ご清聴ありがとうございました。



### 3. 地震保険とは

地震保険は「被災者の生活の安定に寄与すること」を目的に制定されました。

保険金を迅速に・公平にお支払いする為に、判定区分を設けております。  
※火災保険のように、修理費用をお支払いする保険ではありません。

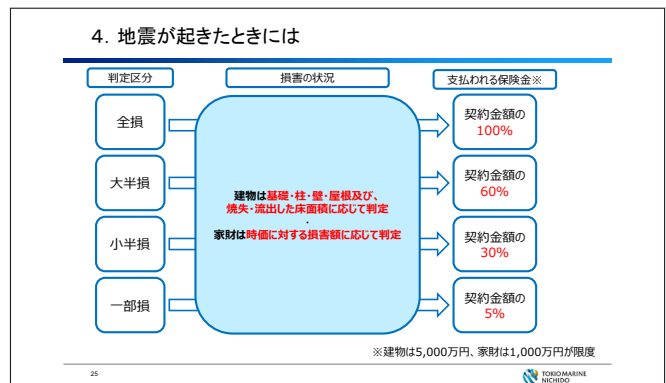
主なお支払い事例

- 地震により、火災が発生し、家が焼失した。
- 地震により、家が倒壊した。
- 地震により、発生した津波により、家が流された。

### 3. 地震保険とは

地震保険 新潟県内 付帯率の推移

新潟県全体		73.9	
新潟市	73.7	村上市	70.5
北区	76.9	燕市	72.5
東区	76.8	見沼市	72.6
中央区	72.3	十日町市	79.9
江南区	76.4	糸魚川市	74.9
秋葉区	75.1	妙高市	71.8
南区	75.0	五泉市	71.2
西区	70.4	上越市	74.7
西蒲区	74.2	阿賀野市	74.3
新潟市	72.3	佐渡市	73.4
三上市	78.0	魚沼市	79.6
柏崎市	77.3	南魚沼市	76.4
新発田市	73.3	船内市	65.3
小千谷市	73.9	郡部	72.9
加茂市	77.4		



### 5. 最後に

冒頭お伝えしたとおり、日本は地震大国であり、いっどこで巨大地震が発生してもおかしくありません。

地震保険に加入することは選択肢の一つであり、正解ではございません。本日の内容をきっかけに、地震が起こった時に備え、ご家族や従業員の皆様とお話してみたいかがでしょうか。



よいことのため  
に  
手をとりあおう



## 2025-26年度 国際ロータリー会長メッセージ 「よいことのために手をとりあおう」 (英語：UNITE FOR GOOD)

サンパウロ（ブラジル）のサントアンドレ・ロータリークラブに所属するマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ国際ロータリー会長エレクトは、2月10日、米国フロリダ州オーランドで開かれたロータリー国際協議会で、「地球上で最も有能なボランティアのチーム」を拡大する計画の概要を示し、成長、奉仕、つながりを大切にして「よいことのために手をとりあおう」と、会員に呼びかけた。

ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもない。それは会員です。ロータリーのパートナー団体がロータリー会員の「並外れた献身」を称賛したことに触れ、外部団体からそう認められたことで、ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は、その会員であるという私の理解が深まった。

世界の地域社会でのロータリーの奉仕を強化することの重要性を強調し、その上で、成長のための「不可欠な3つの柱」として、革新、継続性、パートナーシップを挙げた。

### 革新しながらも一貫した伝統を築く

テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。……革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段。

### リーダーシップの継続性の重要性

継続性とは、画一性ではなく、連携です。地区リー

ダー同士の連携し、自分の“ガバナー年度”を越えてロータリーを思い描けば、長期的な成功の土台が築かれる。

### パートナーシップの力

ロータリー会員は単独でも大きな成果をあげられるが、仲間と協力すれば世界を変えることさえ可能である。ポリオ根絶に向けたロータリーの歴史的な取り組みは、ゲイツ財団、世界保健機関、UNICEF（国連児童基金）などのパートナーと連携して行われてきた。これらのパートナー団体がなかったら、ロータリーが同様のインパクトをもたらすことはできなかっただろう。さらに、入会への関心を高め、クラブを活性化させるために、さまざまな形でのパートナーシップを模索するよう提案した。

事業者団体、専門職団体、学術機関などと協力することで、ロータリーは職業や考え方の多様性を取り入れながら新会員を増やすことができる。奉仕と参画というロータリーの価値観を共有する職業人に働きかけることで、世界でよいことをするロータリーの力を拡大できる。

デ・カマルゴ氏は「ロータリーのすべての功績と成長は、究極的に会員にかかっている。会員の入会促進と維持に力を入れることで、今後も長年にわたって地域社会に変化を生み出すロータリーの強さと力が高まる」と語った。

## 3月のお祝い

### ◎会員誕生祝

11日 中林順一さん 16日 小出子恵出さん  
17日 長谷川正実さん

### ◎夫人誕生祝

1日 石倉和美さん (政雄さん)  
3日 外山弥生さん (浩玲さん)  
15日 関川由紀子さん (博さん)  
16日 杉山敏子さん (幸英さん)  
17日 高橋恵子さん (司さん)  
23日 重山敦子さん (直明さん)

### ◎結婚記念祝

7日 西山徳芳さん (厚子さん)  
10日 飯塚一樹さん (みどりさん)  
16日 荻根澤隆雄さん (愛子さん)  
20日 石倉政雄さん (和美さん)  
21日 小林吾郎さん (幸さん)  
21日 高橋俊樹さん (美枝子さん)  
21日 野崎喜一郎さん (ミチコさん)  
23日 安達俊明さん (葉子さん)  
31日 小林仁志さん (香子さん)

### ◎100%出席賞

26年 小越憲泰さん



## 例会の様子



次週例会 3月12日 「外部卓話」 三条市福祉保健部 健康づくり課  
食育推進室 主査 大泉千裕様  
主任 小柳麻子様

次々週例会 3月19日 休会 (祝日の週)

